

コロナ禍の図書館

～障害者サービスの新しい取り組み～

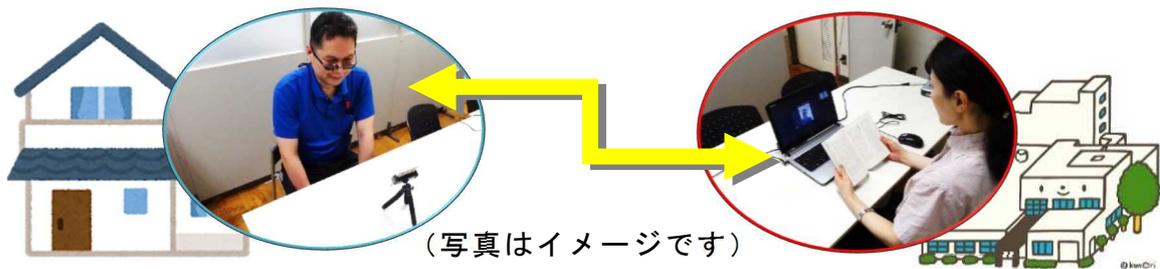
千葉県立西部図書館では、障害者の読書環境の向上を目的とした資料の作成・提供、読書支援機器等の啓発活動、県内公共図書館への普及を図るための講座・研修会を開催してきました。

昨年度からは、コロナ禍を踏まえた非来館型のサービスも進めておりますので、そのいくつかをご紹介します。

NEW 遠隔対面朗読の試行

対面朗読とは、活字による読書が困難な方の求めに応じて、図書館で研修を受けた音訳者が図書館資料を読み上げるサービスです。従来、図書館内の対面朗読室で実施してきましたが、コロナ禍の利用者と音訳者の安全を確保しつつサービスを提供するために、Web 会議システム Zoom を使った対面朗読を試行しています。

これまでのところ、音声聞き取りにくい等の支障もなく、自宅に居ながらサービスを受けられると利用者からは好評です。現在は音訳者に図書館まで来ていただいておりますが、将来的には図書館が利用者と音訳者をオンライン上でつなぐことで、場所による制約を受けない対面朗読の提供を考えています。



アメリカからの図書館レポート

6月30日に開催した「障害者サービス研修会」では、「アメリカの読書事情」と題し、アメリカ・ワシントン州在住の視覚障害当事者のご自宅から、Zoom を使って先進的な障害者サービスや、視覚障害者と聴覚障害者がともに参加・運営する読書会など読書バリアフリーの状況についてお話しいただきました。遠方からでも参加できる点も好評でした。



資料のテキストデータ化サービス

活字の本が利用できない方のために、PC やスマートフォンで読み上げをするためのテキストデータへの変換サービスを提供しています。録音図書より短い期間で作成でき、仕事に役立つ資格取得など実務目的での利用に適しています。

「このサービスで作成したテキストデータ版の参考書を使って、検定に合格した」という利用者の方からのメールは、何よりもうれしいニュースでした。

今後も県立図書館は、障害者の読書環境の向上や社会参加の手がかりとなるようなサービスを提供していきます。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先：西部図書館読書推進課（電話）047-385-4133